

# 【パネルディスカッション】

2022年4月1日に成年年齢が20歳から18歳に引き下げられます。

18歳19歳の若者は、親の同意なく各種の契約が単独でできるようになり、チャレンジできる免許や資格は増えます。他方で、社会的養護の下にいる子どもだけでなく、家庭で育つ子どもも含めて、多くの子どもたちは、18歳で「大人としての責任と自覚」を求められても戸惑うことでしょう。

そこで、今回は「家庭における養育環境と同様の養育環境」（児童福祉法第3条の2）である里親家庭における養育と自立について、里親の実践をされている方から体験談をうかがい、里親支援機関や児童相談所、元里子等の関係者にも加わっていただいたパネルディスカッションで、18歳19歳の若者がかかえる困難や自立支援に必要なことを、会場みなさんと一緒に考えてみることにしました。

里親家庭での取り組みを通して、てんぽが子どもシェルターと自立援助ホームで実践している、一人ひとりの子どもに合わせたペース・内容での自立を支援する意義についても、みなさんと共有できたらと思います。

## 「子どもセンターてんぽ」とは？



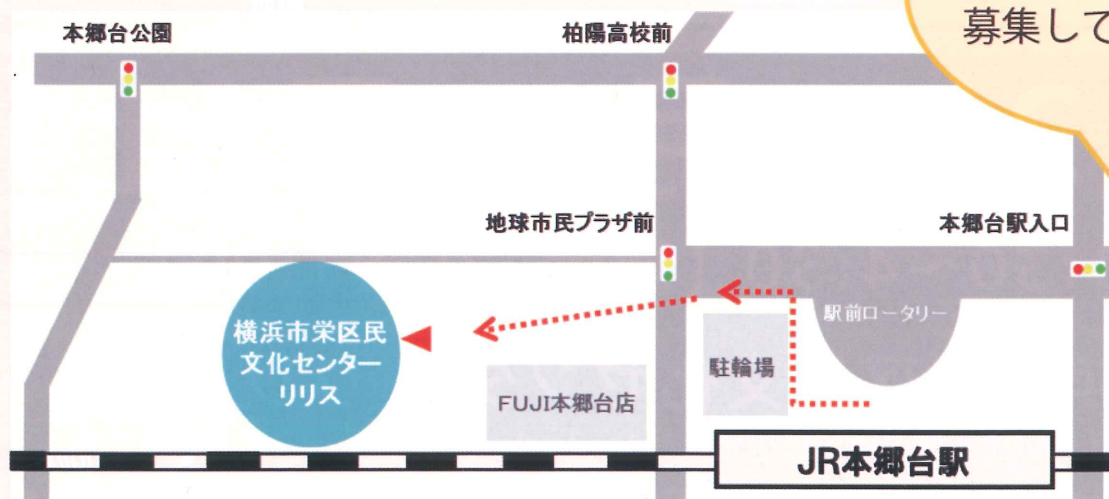
10代後半の子ども・若者たち（以下「子どもたち」という。）の自立を支援することを目的に設立された認定NPO法人です。安心して生活できる場所がない子どもたちのための緊急避難施設である「子どもシェルターてんぽ（定員男女6名）」と、進学や就職を目指す子どもたちが共同生活を通して自立のための準備をする「自立援助ホームみずきの家（定員女子6名）」を運営しています。

私たちは、子どもたちに安全・安心・清潔な住まいとおいしい食事を提供し、利用する子どもたちの人権を守ります。一人ひとりの自立に向けたペースを尊重し、いつも真剣に、ねばり強く、寄り添います。利用する子どもたちが望むとき（退所後も）、けっしてその子どもたちをひとりにはしません。

<http://www.tempo-kanagawa.org/>

※フジテレビ系列のドラマ「さくらの親子丼2（2018年12月～2019年1月放送）」、「さくらの親子丼3（2020年10月～12月放送）」で子どもシェルターが取り上げられました。

## ◆会場案内◆



〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷 1-2-1

※JR 京浜東北線（根岸線）本郷台駅より徒歩3分  
※お車でのご来場はご遠慮ください

## ご参加の皆様へ

※新型コロナウイルスの感染状況により開催中止や入場人数制限の可能性がございます。

お知らせは当法人のホームページで行います。

※発熱(37.5℃以上)、咳などの体調不良や陽性者との濃厚接触者はご来場をお控えください。

検査その他の条件で入場をお断りさせていただく場合もございます。

※会場ではマスクの着用等の感染予防対策にご協力ください。